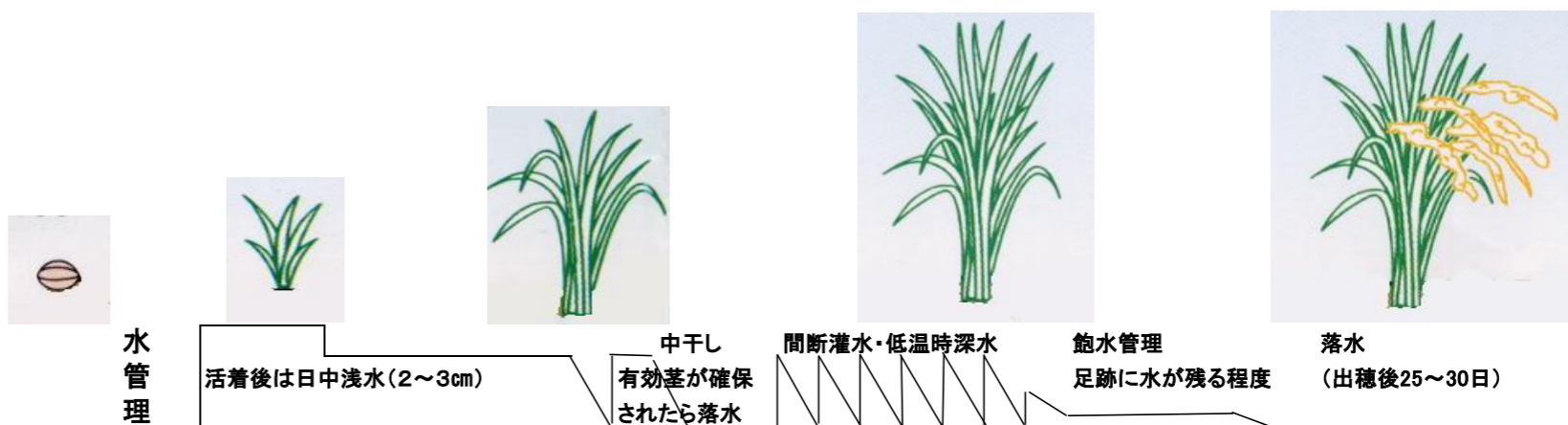




# JAいわでやま環境保全米栽培ごよみ

## 栽培指針

- ◎人にやさしい、自然にやさしい米作りをモットーとする。
- ◎産地間競争に打ち勝てる売れる米作りを行う。
- ◎毎年、全量種子更新を行う。
- ◎生産履歴記帳(トレーサビリティ)し消費者に開示する。
- ◎環境保全を常に意識した農産物生産に努める。



前年10月~2月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 土づくり ※稲わらすき込みの場合は、年内早い時期にすき込みを完了する。 ※窒素を含まない腐熟促進材を使用し、効果的に稲わらを分解させる。 例) ワラ分解キング 10kg/10a ワラゴールド 30kg/10a</li> </ul>	● 播種	● 田植え	● 分けつ開始	● 有効分げつ期	● 幼穂形成期	● 穂ばらみ期	● 出穂期	● 穂揃期	● 成稲熟刈期	● 成稲熟刈期											

### 土づくり・施肥(10a当り)      育苗・田植・水管理      除草剤・病虫害防除      刈取・乾燥・調製

1. 完熟堆肥の施用  
原則として1t以上の完熟堆肥を施用する。

2. 土づくり肥料の施用  
土壌改良資材の散布については、下表資材等を参考に施用する。

土づくり肥料	元気田みやぎ:60kg(10a当り)
--------	--------------------

※シリカゲルの溶解性が高いため、春に散布する。

3. 基肥(一発タイプ)

肥料名	施肥量	成分		
		N	P	K
環境保全米名人 LP-N12	40~50kg	12	11	8

基肥(基肥+追肥)

肥料名	施肥量	成分		
		N	P	K
環境保全米名人 N12 + NK化成C68号	40kgまで	12	14	8
	5kg	16		18

基肥(ペーストタイプ) 育成状況により追肥が必要

肥料名	施肥量	成分		
		N	P	K
有機ペースト855	40~50kg	8	5	5

※育苗期から追肥までで、化学窒素施肥量を3.5kg以内とする。  
 ※食味をよくするため、出穂後の遅い追肥は避ける。

1. 育苗  
**種子は全量更新すること。**  
 薄まきで健苗育成(120~150g/箱・催芽粉)

使用農薬	種籾消毒	温湯消毒
	立枯れ・カビ対策	タチガレン粉剤・液剤(1回のみ)

※バカ苗病が心配な方は、タフブロックを使用する。  
 ※タチガレン粉剤を床土混和した場合は、液剤は使えない。

2. 田植  
 ●田植時期 5月10~15日を目安とする。  
 ●植付本数 3~4本とする。  
 ●栽植密度 18株/㎡以下とする。  
 ※ほ場の肥沃度合いにより加減が必要。(60株/3.3㎡)

3. 水管理  
 ●田植後の水管理は、活着するまでは葉先が2~3cm出る程度とし、その後日中浅水とする。  
 茎数が20本程度確保されたら無効茎を抑えるため中干し又は深水管理とする。  
 ●中干し後は、間断かん水により根の健全化に努める。  
 ●出穂後は、飽水管理(足跡に水が残る程度)とし、登熟期まで根の健全化に努め登熟向上を図る。  
 ●落水は出穂後24日以降とし、早期落水はしない。

1. 病虫害防除(箱処理剤)  
**葉いもち・イネミズゾウムシ同時防除**

薬剤名	使用時期	使用量
嵐プリンス箱粒剤6	床土混和、または播種時~移植当日	50g/箱

尚、病虫害防除は1回散布とする。  
 ※タフブロックを使用の場合、必ず緑化期以降に処理をする。

2. 除草剤

薬剤名	使用時期	使用量
メテオフロアブル	移植直後~5日	500cc/10a
メテオ1キロ粒剤		1kg/10a
キクンジャーZ 1キロ粒剤	初期剤体系処理 移植後 10日~15日	1kg/10a
キクンジャーZ フロアブル	一発剤処理のみ 移植後	500cc/10a
キクンジャーZ ジャンボ	5日~10日	500g/10a

※初期(メテオ)+一発剤(キクンジャーZ)の体系処理とする。  
 ※初期剤・一発剤は、どちらもいずれかの剤型を選択する。

3. カメムシ剤

薬剤名	使用時期	使用量
ダントツ粉剤DL	1回目 「出穂~穂揃」	3kg/10a
スタークル粉剤DL	2回目 「傾穂期」	

※病虫害の多発生した場合は、農協に相談して下さい。  
 ※農薬散布時は、ドリフト(飛散)に注意すること。

1. 適期刈取り  
 ◎積算温度を勘案し、適期刈取りを励行する。(出穂後40~45日を目安とする。)

品種名	出穂後の積算気温	出穂後の日数
ひとめぼれ	940~1,100℃	42~50日
ササニシキ	960~1,170℃	43~53日

2. 乾燥  
 ◎乾燥機を使用し努めて低温乾燥とする。  
 水分は14.5~15.0%とする。

3. 調製  
 ライスグレーダーの網目は1.90mmを必ず使用し、整粒歩合85%以上の1等米に仕上げ。

※数品種栽培している場合は、コンタミ(異品種混入)のないよう機械等の清掃を確実に。